

評価対象	評価項目	狙 盤 具体的数値項目	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
			①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	1) コース制・選択科目等を導入している教育課程(カリキュラム)に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	新学習指導要領の完全実施に伴い、コース毎の教育課程全般について見直しを行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営実践類型の成果について検証する。 ・コース制・選択科目の成果とこれから5年・10年先を見据えた教育課程について検討する。 ・新学習指導要領を踏まえより充実した学習活動について検討を行う。 ・キャリア教育の一環として、進路先の開拓と事前・事後指導の充実を図る。 ・進路選択の効果について検証する。 ・研究レベルの向上と新しい連携の開拓を目指す。また、農業クラブ活動など放課後の活動につなげる指導を行う。 ・生徒により充実した学校生活が送れるよう、学習指導、進路指導、HR指導、部活動指導等について工夫する。 	
		2) インターンシップ(短期・長期)に生徒の80%以上の生徒が満足している。	B	A	A	1学年において長期インターンシップを全学科で実施した。受入れの開拓を学科コース毎に行っている。		
		3) 地域交流、地域貢献的活動、高大連携研究に全学科で取り組んでいる。	A	A	A	全ての学科で取り組んでいる。共同研究先の開拓と内容の充実を図る。		
		4) 学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	B	B	B	生徒にとって魅力ある学校づくりを目指す。		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒実態に応じた指導を行っていますか。	5) 授業に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	授業評価アンケートを年2回実施した。各学科・各教科で授業改善について話し合いを実施した。教材の工夫、ICT機器の活用など、生徒にとって「わかる授業」を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領を踏まえ、授業規律の確保、言語活動の充実、双方授業の工夫に力を入れ、より充実した授業とする。 ・生徒にとって「わかる」授業を展開し、落ちこぼれを出さないよう一層の工夫・改善を行う。 ・アクティブラーニング型授業の導入に積極的に取り組みたい。 ・授業改善への意識を高める工夫を行う。 ・進路との関連を持たせながら、目標設定を明確にし、生徒にとってわかる授業、魅力ある授業を目指す。 	
		6) 授業改善のための研修会を3回以上実施している。		B	B	研究授業2回、公開授業6週間等を実施し、教員の授業改善の意識を高めた。		
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	7) 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。	B	A	A		授業改善と絡めながら学習意欲や興味・関心を持たせる工夫をした。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	8) 生徒クラブ活動に生徒の70%以上が満足している。	A	A	A	活動場所の提供や動機付けの指導を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の成果が表れており身だしなみやあいさつ等社会生活に必要な規範意識が身につけている生徒が多い。 ・全教職員が同一歩調で指導を行っており、問題行動等の生徒が少なくない。 ・瘦く全国大会は全教職員、生徒が一丸となって取り組み全国に誇れる大会になりました。この体験や自信を次に活かして下さい。 ・頭髪服装検査等定期的な共通の目標で指導しているように思う。これらも良好な人間関係の上で成り立っている。 ・運動部の活躍を大変嬉しく思います。健全な部活動は高校生活全般に影響を与えたと考えても過言ではないと思います。 ・あいさつ、遅刻、欠席等は人として身についていなければならないことです。ので根気強く指導して頂きたい。 ・いじめのない学校は素晴らしいです。生徒相互間、教職員相互等の人間関係が良好の証です。しかし、集団が変化する学校ではいついかなる時にも発生してしまうように常に注視し対策を講じて欲しい。 ・生徒が社会へ出る前のきちんとしたあいさつ等がなされていることを、インターシップ受け入れで感じております。 ・生徒の生活態度の確かな変化も十分な目配りがされていると思います。SNSの問題等、従来とは異なるケースにも、引き続き学校を学んで取り組んで頂きたい。 	
		9) 頭髪服装指導、両合羽着用指導、校内巡回指導を定期的に行っている。	A	A	A	登校時指導、両合羽着用指導、昼休みの校内巡回指導など定期的に実施した。		
		10) 自ら進んで挨拶できる生徒が70%以上である。	B	B	B	登下校時に挨拶運動を実施した。		
		11) いじめの未然防止、早期対応に努め、いじめの未解決が0件である。	A	A	A	1学期は1件発生したが解決済みである。2学期は発生なし。今後も未然防止、早期対応に努める。		
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	12 遅刻率は0.7%(5人/日)以下である。	12) 遅刻率は0.7%(5人/日)以下である。	A	A	A	遅刻防止指導を担当・学年・生徒指導部と段階的に行った。年々減少している。	<ul style="list-style-type: none"> ・非行未然防止のため校内巡回指導を今後もより充実させる。 ・あいさつ運動のさらなる推進をはかる。 ・二者面談、三者面談の実施 ・家庭との連携を密にし早期対応に努める。 ・本人への自覚を促すと共に家庭への連絡を徹底する。 ・家庭への連絡を徹底すると共に、教育相談等を活用する。 ・二者面談、三者面談の実施 ・スクールカウンセリングの活用、面談の実施など生徒理解に努める。
			13) 欠席率は1.5%(10.5人/日)以下である。	A	B	A	教育相談等を活用したが改善できない生徒がいた。年々減少している。	
			14) 学校での人間関係がスムーズに行っている生徒が80%以上である。	A	A	A	生徒が抱えている問題を把握するため二者面談を行った。また、スクールカウンセラーによるカウンセリングも実施した。	
			15) 学校から提供される進路情報が役立っている」と評価する生徒が70%以上である。	A	A	A	資料ファイル等を整備、情報提供に力を入れた。	
	IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	16) 進路通信を定期的に発行している。(発行予定 12回)		C	C	各学年毎に発行。3年9号、2年14、1年12号発行できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布された資料を授業・LHRなどで有効活用する。 ・各学年に担当職員を配置し、学年に応じた進路情報を定期的に提供する。 ・進路行事の内容をさらに充実させる。情報提供を行う。 ・1年次、2年次、3年次とその学年にあつた計画的な指導を行う。 ・生徒の意識を向上させるための工夫を行う。
			17) 進路関係の行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が60%以上である。	B	B	B	「進路の日」など進路関係の行事を設け実施を行った。	
			18) 進路決定は100%である。		B	B	99%の生徒が決定した。未決定は1名。	
			19) PTA総会、学年保護者会、支部懇話会等に1回以上参加している保護者が70%以上である。	B	B	B	授業公開、PTA総会、オープンキャンパス、学年別・クラス別懇話会を実施してきた。参加者は増えたがまだ不十分である	
	V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	20) ホームページ(webページ)を公開し、毎月更新をしている。	A	A	A	毎月、または行事等ごとに更新した。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験や行事を通してより一層開かれた学校づくりを推進して頂きたい。 ・学校開放、取組等が地域から好評を得ている。 ・保護者の皆さんに学校に関心を持って、いつも来校していただくことも非常に嬉しいことです。一年生に入学した時が保護者にとってもこれからの3年間を左右する大切な時期ですので、しっかりと入学時に指導をお願いすることが重要だと思います。 ・支部懇話会は勤務終了後現地に出張される先生方は大変だと思いますが、大変有効な懇話会になっていると思いますので継続して欲しい。 ・メール配信システム等の活用を更に推進すると便利になると思います。 ・地域社会の教育力を活用する点に関し、国際プロミスス前編が行っている高校生へのデートDVカードの配布に引き続きご協力をお願いします。また、デートDV防止啓発講演会の実施についても是非ご検討下さい。 ・行事日程・内容を検討する。保護者に繰り返し参加を呼びかける。 ・適宜更新し、内容の充実を図る。特に、各学科・コースの内容について更新する。 ・来年度もメール配信システムを活用し、より確実な文書が保護者に届くようにしたい。 ・講師の選定や実施期日について検討する。
			21) 学校からの配布物に目を通している保護者が80%以上である。	C	C	C	保護者アンケートより、70%の保護者が目を通している。メール配信システム等を活用し、80%を超えるよう工夫する。	
9 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。			22) 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回実施している。		A	A	開校記念日、交通安全講話、薬物乱用防止講演会、エイズ講演会、進路講演会等を実施した。	
VI 適切な農場運営を行い、生徒の学習に効果的に反映していますか。	10 計画的に有効な農場運営を行っていますか。	23) 主体的に農場施設等を利用して、学習に役立っている生徒が70%以上である。	B	B	B	農業クラブ活動や課題研究等で活用が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生きたアグリトレーニングをお願いします。 ・農場運営に、生徒をどのように関わらせるか難しい問題である。生徒が一律に関わらなくても活用したい生徒がいれば積極的に開放してやることも必要ではないかと思えます。 ・地域に開かれた学校として今後も推進して下さい。 ・地域公開は大変よいと思います。一般の人々に農業等理解してもらうためにも公開は大変重要だと思います。 ・勢多農林高校によって、農場運営がいかに重要であるかをこの項目で再認識しました。農業まつり等にも是非関わりたいと思います。 ・農場クラブ活動等を通して、学科間の連携を強め、更に有効的に活用させる。 ・地域の要望、学校関係者評価委員の意見などを考慮して行う。 	
		24) 農場の公開を定期的に年5回実施している。		A	A	春・秋農業まつり、オープンキャンパス、食農教育等を中心に学校の情報発信ができた。		